

私にとっての吉日楽校

ってどんな場所？





街に新しくできるこの場所が
街に受け入れられ、街とともに成長し、
新しい街の姿を作っていく場所になるために。



地域とつながる
まちづくり



#0

なにかはじめる、
なにかはじまる。

「吉日」とは、なにかをするのに、日取りのよい日。
新しいことにチャレンジする。思いっきり遊ぶ。
風や日の光を感じながら、ぼーっとしてみる。
そんな場所として、この楽校をつかってみてください。
そして、いつもより目を凝らして周りや自分自身を
見てみてください。ちょっとした発見や達成感、
はじめての体験、そして新しい出会いがあるかも
しれません。それが、吉日楽校での“学び”です。
さあ、思い立ったら、吉日楽校へ。



吉日楽校の冬は 何ができるか会議 12月

その日集まった地域住民による議題「吉日楽校の冬はとても寒い。その中で何ができると楽しいか、寒くても楽しめそうなのか」様々な世代を交え、吉日楽校を考える会議が開催されました。



2月 今日はギター教室を

毎週来てくれるおとうさんが今回持ってきたのは昔からずっと弾いているギター。吉日楽校で弾き語りライブが始まり、観客だった小学生の男の子とのギター教室がひらかれました。



DIY始めました 4月

吉日楽校常連さんが工具と材料を吉日に持ってきた！家だと汚れてしまうし、音も気になるけど、けどここなら気持ちよく作業できる！とニコニコでDIYをしていました。

なにかはじめる、
なにかはじまる
きっかけの日。

open
day!

8月 吉日楽校初の ちいさなお客様

吉日楽校を開校してからはじめて来てくださったちいさなお客様。吉日楽校に来た時は歩く練習をしていましたが、月日の経った今ではトコトコ歩けるようになっています^~^



イベント準備も イベントに！ 10月

地域の主婦さんたちにハロウィンのイベントを行う話をしたところ、ゲートの装飾である旗作りをこどものペイント企画として提案してくださり、行いました！

焚き火BAR

毎月開催

焚き火の楽しみ方を
伝授!焚き火講座◎



焚き火で繋がる

焚き火BARが準備しているものは焚き火とドリンクのみ。焼いたら美味しそうなものを各々が持ち寄り、焚き火を囲みながら語り合います。焚き火の最後には全員で手を繋いでマイムマイムを踊った事、全員で参加してみた感想を言い合った事で、焚き火が一つのコミュニケーションを育てるコンテンツとしてまとまり終える事ができました。焚き火BARの回数を重ねていくと地域のアウトドア歴22年のベテラン夫婦を発見!2人が先生となり「焚き火BARクリスマスナイト」を開催できることに。先生のコウさんによる焚き火講座、カナコさんによる枝パンづくりなどを実施しました。今までの焚き火BARでは焚き火を囲んでそれぞれのコミュニティーが生まれたのですが、焚き火の起こし方から楽しみ方までをともに過ごす事で一体感を生み出した企画となりました。また、焚き火を通して食べ物やアウトドアグッズをみんなでシェアしながら楽しむ雰囲気が生まれていました。



普段気軽にできない焚き火を開催!

焚き火を囲みながら肩書きを外して語り合う場をひらきます。



コンテナが
BARに変身!

宇宙教室

2018
8月
11月

仮囲いに宇宙を
映し出します!



楽しむ側から 楽しませる側へ。

元・日本科学未来館サイエンスコミュニケーション・講師が星空案内人（先生）になり、市街地から天体望遠鏡を使って月や惑星を観測し学ぶ教室を開催。実際の天体観測と、専用ソフト「Mitaka」を使つたレクチャーでのバーチャル宇宙旅行で、自分たちの街から見える星空や宇宙について理解を深めました。ところが宇宙教室が人気になつていくとある日、先生一人に対し生徒が十数名となり、一人一人に十分に楽しんでもらうことが難しくなりました。そこで「望遠鏡マスターになろう」という企画にした事で参加者が楽しむ側から楽しませる側へ育つことのできる企画を用意。いつもは先生が組み立てていた望遠鏡を参加者が一から組み立て、望遠鏡について協力しながら学ぶ場が生まれていきました。今では一人しかいなかつた先生が30名以上となり、みんなで宇宙を楽しむことが出来るようになつてきています。

望遠鏡
マスターになろう!



吉日楽校の上に開けた、広い星空をフィールドに天体観測。
星について、宇宙についてをみんなで学ぶ星空案内人による宇宙教室。



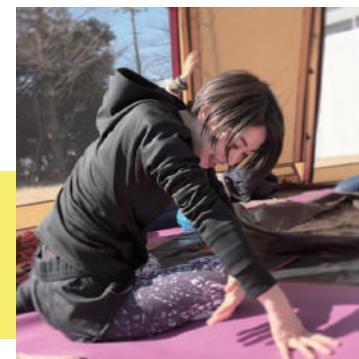
テントで美教室

毎週開催



日々忙しい主婦に癒しの時間を！体を動かし自分を大切にする時間を共有することで新たなるコミュニティを育てていく。

日吉在住のtomomiさんによるテントの中で行う美教室を開催！



tomomiさん

tomoreme spa&studio
meguro yutenji オーナー

独立後は祐天寺徒歩2分の場所に
salonをopen。
芸能人も多数来店の人気店です。

日吉に住む子育て中のママをキラキラ輝かせます

テントの中で
足湯マッサージ！



吉日祭りでも大人気を得たセルフストレッチ教室のピラティスインストラクターともみさんによる定期開催コンテンツ「テントで美教室」がはじまりました。「テントはキャンプだけのものじゃない！吉日楽校のテントの中でキレイになろう！」とテントを活用して、ストレッチ教室や、足湯マッサージ、マイクレッスンを開催。参加者は継続的に参加くださっている地域住民の方から、マンショングャラリーを訪れたところ吉日楽校に興味を持ち参加へとつながつた方、小さな女の子のためのプリンセスメイクレッスンでは近隣に住む小学生の女の子が集まり、幅広い参加者の受け皿となりました。吉日楽校の中で美を通して地域住民と新住民を繋ぎコミュニティを形成していくことができます。

吉日楽校の
おやすみ期間中は
モデルルーム活用！



メイク
レッスン

防災ピクニック

毎週開催

主催のママさん作成
「防災ピクニック
企画資料」



保存食を食べてみよう 実施内容詳細

Challenge 1 <グループ1> そのまま食べられるものを食べよう

Challenge 2 <グループ2> それがそのまま食べられるものを食べてみよう

Challenge 3 <グループ3> 缶詰を食べて、レトルト弁当を食べてみよう

Challenge 4 <グループ4> 1～3を通して他のものに必要な非常食を考えてみよう

いざ！という時「自分が守る」「家族を守る」ために必要なはこの一歩。
まじめなから、負けじがらえ気持ちでピクニックという形で実際にやってみよう！

防災ピクニック

吉日 楽校

いざ！という時「自分が守る」「家族を守る」ために必要なはこの一歩。
まじめなから、負けじがらえ気持ちでピクニックという形で実際にやってみよう！

防災ピクニックを楽しむ、
遊び合いながら実践



地域のママさん主催企画！

防災について気になるコト、実験してみたいコトをみんなで楽しく
ピクニックをしながら学び、実践と体感をしていきます！

↓つくってみた防災食



スマートスポーツ教室

定期開催

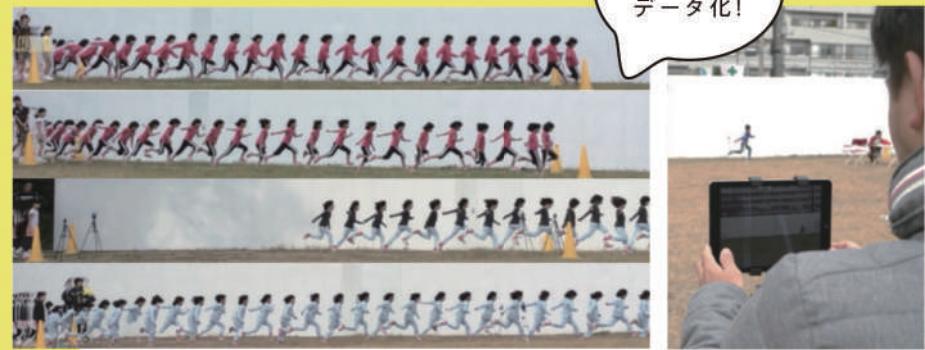


スポーツをデータ化することでいろいろなことが見えてくる
様々なテクノロジーを通じて研究している慶應義塾大学大学院
SDM 研究科の先生達と楽しく学んでいくプログラム



スポーツをもつと 楽しむ！

走り方を
データ化！



"Clipstro powered by SPLYZA inc."

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科神武直彦研究室の先生の皆さんと一緒に休日、放課後の子ども達の遊びを身体的・知的にデザインし、スポーツの楽しさを体験できる教室を月に一度、全6回（ラグビー・かけっこ・サッカー・ドッジボール・まとめ）開催しました。生徒は近隣小学校に通う子どもたち30名。スマートスポーツ教室では、テクノロジーを活用して、参加者の皆さんの動きをデータ化します。また、最初と最後のデータを比較し、変化を確認することで自分の成長を客観的に捉えて見たり、発見があることを様々なテクノロジーを通して学びました。最初は緊張している様子が見られたり、うまくかず涙を流すこともありましたが、回数を重ねていくとスポーツを心から楽しみ、自然な笑顔が生まれることも達の運動能力だけでなくコミュニケーションを育てていきました。

たくさん成長しました！

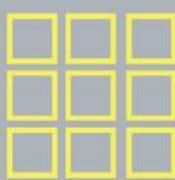


なにかはじめる、なにかはじまる。

吉日祭り #1



1. 吉日祭りの賑わう様子 2. レジャーシートを広げ祭りを楽しむ様子 3. 吉日祭りのきっかけとなったフリーマーケット 4. 吉日美容室 5. ストレッチ教室 6. レジャーシートをつくろう！ 7. Disk jockey の音楽に合わせて踊る 8. 吉日祭り終了後の焚き火 BAR 9. 吉日祭りに集まつた仲間たち



2018.11.25

吉日楽校の常連さんで
あるママさんからの
「フリーマーケットを
したい」という声から
始まつた吉日祭り。吉
日楽校ではじめて地域
の方や吉日楽校の来校
者の方々の企画を集め
たお祭りです。BMW
社とのコラボ「Tinil」
の展示や日吉のゆかり
のある美容師さんによ
る屋外で髪を切る吉日
美容室、日吉の主婦に
によるストレッチ教室や
フリーマーケットなど
を開催。当日来場者数
は500人ほどに登り、たく
さんの笑顔を吉日楽
校でみることができます。

なにかはじめたい！
を集めた小さなお祭り

吉日祭'19 #2



なにかはじめたい！
を集めた小さなお祭り
自分たちの住む街を自分た
ちで楽しむ。小さくなにか
をはじめてみると、新しい
出会いや学びがはじまつ
ていきます。なにかはじめて
みたいな人を地域住民、イベ
ント参加者から集い小さな
お祭りをひらきました！

第2回目となつた吉日祭り
は、開発後にこのエリアの
リーダーになつて行くコ
アパートナーの4組と地域
住民10組と一緒に作り上げ
開催することが出来ました。
当日、大きな姿としての吉
日楽校が最後だったことで
吉日楽校に間わり続けてく
さつた住人の方が感謝を伝
えに来てくれました。吉日
楽校の取り組みがこの地域
に場の価値を生み出し、少
しずつ地域に愛される場へ
と変わってきたいるのでは
ないでしょうか。

吉日楽校

#0のあとがき



今までの開発の時間では、仮囲いが何百メートルにも渡り
得体の知れない場所となってしまっていました。
そんな場所が今では街の人たちが「なにかをはじめるこことできる」場所
へと吉日楽校の取り組みを経て変わってきたのではないでしょうか。

吉日楽校があることで、街や地域とより繋がることができて。
毎日の暮らしがちょっとより豊かになるような。
そんな場所になれることを目指してきました。